

Brush Up Letter

神戸大学医学部附属病院
D&N plus ブラッシュアップセンター

〒652-0032 神戸市兵庫区荒田町2丁目1-5 TEL 078-382-5266
E-mail: brushup@med.kobe-u.ac.jp http://www.hosp.kobe-u.ac.jp/dn/

2014年5月～6月の主な活動

全体		
5月	8.12.19日	地域医療活性化センター視察者来室当センター概要説明
6月	19日	第1回 運営委員会
医師		
5月	全7日	研修医ミーティング収録
6月	26日	ママドクカフェ開催
	全4日	研修医ミーティング収録
看護師		
5月	15.16日	新人看護師フィジカルトレーニング

2014年7月～8月の主な予定

全体		
7月	3日	WLBセミナーワーキング
医師		
7月	1日	育児・介護復職者支援短時間勤務医員2014年10月採用者公募
	全14日	研修医ミーティング収録
8月	未定	研修医ミーティング収録
看護師		
7月		随時対応
8月		

配信中コンテンツ

4月	新規採用者合同研修 看護部採用時オリエンテーション 看護部長講和 研修医ミーティング 1年目研修医オリエンテーション
5月	研修医ミーティング
6月	研修医ミーティング



ブラッシュアップセンターも新しい事務室、新加入のスタッフと3カ月が過ぎ、相変わらずのペースですが、ようやく落ち着いてきました。

[5/15・16] 新人看護職員研修



4月の新規採用職員合同研修、看護部オリエンテーションでお会いして1カ月半が経ち、新人看護師のみなさんの表情もきりりと引き締まった立派な看護師に変わっていました。今年、新人看護師のフィジカルトレーニングが地域医療活性化センターB1スキルスラボで行われ、腸音聴診トレーニング、呼吸音聴診トレーニング等、基本的看護技術のトレーニングが教育指導者のもとグループごとに行われました。受講中の新人看護師の方々より、「明日から患者さんにしてあげたい」「お腹に聴診器をあてる時は温めてから・・・」とつぶやく等、技術を習得するだけでなく、新たな気付きを得た充実した実習になったことと思います。地域医療活性化センターB1スキルスラボ内には、模擬病床も設置されており、以前にも増して充実した研修がこれからも行われます。新人ナースの皆さんのますますのご活躍を期待しています。



[6/26] 第4回ママドクカフェ開催



第4回ママドクカフェは講演者がお子様の病気のためやむを得ず欠席されるとい、まさに子育て期に起こりうる課題を浮き彫りにした幕開けとなりました。そんな中で、当病院皮膚科 病棟医長 小野竜輔先生、パルモア病院 麻酔科 魚川礼子先生ご夫妻が「緊急事態の発生時にはやっぱり周りにいるできる人がなんとかやるしかないですね」と当センターからの突然の申し出にも関わらず講師を快くお引き受けくださり、無事第4回ママドクカフェを開催することができました。

今回は「緊急事態が起こった時に夫婦でどう働くか?」という内容と、またテーマでもある「イクメンの育て方」についてをお二人にお話して頂きました。当日朝のこちらでも突発的に起きたエピソードから、病時の対応の方法、その苦労、また大学のサポート体制について。「イクメンを育てる」については、「パートナーが強い意志を持って働くんだという気持ちを表しておれば、それを止めることはない。」と話される等お互いを尊重し、とにかく良く話をします。相互理解の下、共に育ててゆくものだと思います。また今回は多くの男性医師にご参加頂き、ご家庭の様子やその工夫等ご意見を頂きました。これらのことは今後のキャリアカフェに反映させて参りたく思っています。次の機会もご期待ください。ご多忙の中ご参加くださいました皆様ありがとうございました。ママドクカフェ詳細はブラッシュアップパークHPに掲載しています。

イクメンのつぶやき vo.1

総務課職員係

係長 玉田 和夫氏



3児の子育て中+医療者をパートナーに持つ職員先輩パパ

私には、3人の子ども(小学校3年生、小学校1年生、保育園2才児)がいます。妻は、某病院で看護師をしております。4月から子どもを保育園に預け始めたので、妻は、5月から復帰し、育児時間(週8H×3日)で勤務しています。

子育てに関しては、子どもが1人から2人、2人から3人になると大変さは増しますが、子どもが増えると賑やかで、毎日、楽しく過ごしています。

しかしながら、共働きで子どもを育てることは大変です。保育園の送り迎えをどうするか、学校行事の参加はどうするか等の問題もありますし、子どもに何か起こると家族内の問題では治まらず、祖父母や職場の方々にも大きな影響を与えてしまいます。私の場合、妻が看護師ですので保育園からの緊急の呼び出しには対応が難しく、職場の方々には迷惑

をかけますが早退させてもらったり、どうしても対応できない場合は祖父母にお願いしています。

また、妻が育児時間取得しているとはいえ、土曜、日曜など休日勤務や夜勤もありますので、妻が看護師だと大変だとの実感はあります。時々、土日両日に勤務が入ることがあり、平日働いて土日に育児・家事を1人ですると、しんどいと思うこともあります。

共働きをすることで私の負担は増えたと思いますし、子ども達にも負担が強いていると思いますが、今までより子ども達と話す時間と遊ぶ時間が増えたこと、子ども達が率先してお手伝いしてくれるようになったことなど嬉しいこともあります。共働きで育児をすることは大変なことの方が多いかも知れませんが、良かったと思えることもあると思います。皆様も、見つけてみてはいかがでしょうか。

最後に医学部内の状況を見てみると、産休・育休を取られている方も多く、また、共働きで育児をされている方も多いように思われます。同じ悩みや問題を抱えている方も多いと思います。そのような場合は是非、ブラッシュアップセンターで企画されている「ママドクカフェ」、「ママナース会」等を利用してみてはいかがでしょうか。

(2014年6月寄稿)

10月採用育児・介護復職者支援短時間勤務医員公募

育児・介護復職者支援短時間勤務医員制度(概要)

■対象者

- ・産前産後休暇中・育児休業中、介護休業中、もしくは出産・育児、介護により離職した神戸大学医学部附属病院に関連する医師
(ただし、神戸大学医学部附属病院診療科長等の推薦を受けた者)
- ・本制度による復職が、次に向けてのステップアップと捉えることができる医師

■勤務について

- 勤務時間：1週間当たり20～25時間の範囲内
- 休日：土・日・祝日 当直・残業免除
- 次回公募：11月を予定(12月採用)

■必要書類

- 履歴書・診療に対する実績と抱負等・意見書
- 業績目録・論文、学会発表等の業務実績等お持ちの場合提出のこと

7月1日
公募開始

はとぼっぼ保育所病後児保育室からのお願い

はとぼっぼ保育所ご登録時、ご利用時には、はとぼっぼ保育所専用の登録用紙、利用連絡票等の提出が必要です。神戸市や近隣各市が発行している用紙とは異なっており、登録時やご利用時にはとぼっぼ保育所以外の書類を提出頂いても登録、ご利用いただけません。

また、はとぼっぼ保育所は「病後児保育室」(「病後児保育」とは、病気は治っているものの、まだ本来の状態に戻っておらず、普通の保育メニューを受けるのが難しい回復期の子どもを親に変わって世話をするという意味で使われています。)を開設しています。発熱時等急性期の場合はご利用いただけません。上記のことをご理解いただいた上でご利用いただけますようお願いいたします。

【はとぼっぼ保育所】ホームページ：<http://www.kobe-u.ac.jp/hoiku/index.html>
TEL：078-382-6984 FAX：078-371-4770